

インフォシス、GovHack 2020 パートナーシップにより、 オーストラリアとニュージーランドにおけるデジタル・スキルとイノベーションを加速化

Wingspan と Infosys Nia™ などのデジタル学習および AI プラットフォームを GovHack 参加者に提供

オーストラリアとニュージーランド - 2020 年 8 月 14 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、8 月 14 日から開始される GovHack 2020 のサポートを拡張することを発表しました。2 日間にわたるハッカソン・イベント GovHack がオーストラリアとニュージーランドで同時に開催されました。参加者は、46 時間内に公開された政府データに基づいて、コンセプト、マッシュアップ、モデルを創造します。また、作業を行いながら、政府や地域社会が直面している課題に対して、新しい革新的な方法で取り組みます。GovHack は南半球最大のオープン・データ・ハッカソンです。

今年のコンペティションは、hackerspace.govhack.org に公表されたコンペティション・スケジュール、データセット、課題、チームの紹介ページによって、すべて仮想上で実現されました。さらに、開会式と閉会式はライブ配信されます。チームのコミュニケーションやメンターによるサポートには Slack を使用し、参加者やメンターが向かい合って協力し合う場合には Zoom Rooms を使用します。

また、GovHack は民間部門のパートナーと綿密に連携し、次に挙げるような仮想学習、AI およびアナリティクスのツールによって取り組みを改善します。

- 主要企業スポンサーとして、インフォシスは学習プラットフォーム Wingspan の専用版を作成し、参加者が作業しながら学習できるようにします。インフォシスの 220,000 名の従業員がこのプラットフォームを使用し、社内専門家および 40 のパートナーの提供するコンテンツで構成された 4,000 コースにアクセスしています。
- インフォシスは、AI プラットフォーム Infosys Nia™ の高度機械学習モジュールも提供します。データの作成から保存までデータの流れを管理し、ルールを適用するためのツールとフレームワーク、さらに、異なる場所からの異なる形式のデータを収容する機能を参加者に提供します。
- インフォシスのパートナー [UiPath](#) が提供するロボティック・プロセス・オートメーション・ツールにより、参加者は人の作業を統合し、模倣するコンピューター・ソフトウェアを構成できます。
- [Innovations Accelerated](#) は、各チームがメンターを最大限に活用できるように作業するファシリテーターと共に、コンペティションの前と開催中にデジタル・ファシリテーターに専門的なトレーニングと管理を提供します。インフォシスなどのパートナーが提供するメンターは、参加者に仮想ガイダンスを提供します。

今年の課題は、パンデミックから学習する方法に注目しています。インフォシスのオーストラリア支店は、高齢者介護の体験を再考する課題を設定し、パンデミックのなかで高齢者の安全を維持するための簡単に利用できるソリューションを模索します。ニュージーランド支店は、地域、国または世界の今後の緊急事態への対応の改善を支援できる最新技術を使用したソリューションを模索します。また、インフォシスとモナシュ大学は、地域社会の安全に対するより積極的なアプローチを採用するためにオーストラリアとニュージーランドでのデータ使用方法に注目した合同課題を設定しました。

インフォシス SVP 兼オーストラリアとニュージーランド地域の責任者 Andrew Groth は次のように述べています。「オーストラリアとニュージーランドでデジタル人材を育成する責務の一環として、インフォシスが GovHack をサポートし始めてから 3 年になります。毎年、提案されるソリューションの質の高さに大きな感銘を受けており、今年は仮想環境でチームが何を生み出すのか楽しみにしています。Infosys Nia のようなプラットフォームを彼らがどのように利用するのかを本当に知りたくてたまりません。さらに、ハッカソンの週末以降も、次世代学習プラットフォーム Wingspan で今年のチームの学習継続を支援することを発表できて嬉しく思います」

モナシュ大学とオーストラリア連邦警察による AiLECS リサーチ・ラボの共同ディレクターである Campbell Wilson ドクターは次のように述べています。「地域社会の安全を維持することが 2020 年の主要点です。パンデミックが継続しているため、重要な社会的問題が増加することは疑いの余地がありません。ですから、参加者にはこれらの問題が段階的に増大し、介入が後手になる前の可能な措置として政府がリソースを適用できる手段を調査する課題を設定しています」

UiPath ANZ のマネージング・ディレクター兼バイス・プレジデントである Andrew Phillips 氏は次のように述べています。「GovHack によるオーストラリアのデジタル人材育成において、パートナーであるインフォシスをサポートできて嬉しく思います。本プログラムは、UiPath Academy を通じて無償の公開トレーニングを提供することでオートメーションを民主化するという当社の目的に真に一致します。GovHack の参加者がロボティック・プロセス・オートメーション (RPA) を体験し、それを活用して問題のソリューションを見つけられるように応援します。オートメーションと人工知能のスキルは、今後の職場で重要な役割を果たします。したがって、GovHack イニシアチブは こういったスキルを学習し、実践する素晴らしい機会です」

GovHack Australia の Jason Weigel 会長は次のように述べています。「毎年、GovHack にはオーストラリアとニュージーランドから参加者が集まり、地域社会が直面している多数の課題に対応します。こういった課題に取り組むことで、地域社会が誰にとってもより良い場所になることを目指しています。2020 年は、パンデミックの影響でコンペティ



ションは主にオンラインで実施されますが、シドニー、クライストチャーチ、アリス・スプリングス、フリーマントル、その他オーストラリアとニュージーランドの多くの地域の人々がデジタルでつながるので、参加者とメンターの間により素晴らしいつながりができるでしょう」

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイル・デジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアを構築、伝達し、継続的な改善を推進しています。

リンク先 www.infosys.com では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本オフィス

マーケティング本部長 安藤 03-5545-3257 Email jo_ando@infosys.com